

新産会



新世代産業研究会 / 発行
発行責任者 山田茂樹
編集責任者 他力博
平成21年1月1日 発行

共に国際社会を生き抜く、一期一会

<http://www.shinsankai.gr.jp>



新年丑年を迎えて

新年明けましておめでとうございます。平成21年が皆様にとって良い年であり、心からお祈り申し上げます。

昨年9月のリーマンブラザーズ破綻を皮切りに米国発サブプライム危機は、日本経済をも大きく飲み込もうとしております。平和で住みやすい社会になりますように願わずにはられません。

さて、「新産会」の活動行事として、昨年来の理事会講演会も回を重ねる事、18回を開催して参りました。会員の皆様方の日々ご活躍の貴重な情報源になっておられる事と存じます。新年は特別理事会講演会を13日（火）に予定をしておりますので宜しくお願い致します。

そして、本年も昨年に増し厳しい経済状況が予測をされますが、「新産会」会員数約100社の皆様方相互の連携をさらに深め、情報の共有をさせていただきたいと思います。本年も会の運営に対し微力ながら最大限の努力をしておりますので、会員の皆様方のご指導ご鞭撻を宜しくお願い致します。



会長 山田茂樹

愛知県産業労働部長との勉強会

毎年恒例の愛知県産業労働部長との勉強会が、さる12月10日（水）名古屋国際ホテル菊の間において開催されました。今年は会員29名のほか、愛知ソフィア会からも3名参加いただきました。

富吉賢一部長からは愛知県下の各産業の現状に対する認識と、愛知県としての施策についてお話いただき、その後会員企業3社からの事例発表がありました。

◆愛知県産業労働部長 富吉賢一様のお話から

元気な愛知県の産業は他府県に比べ非常に高い伸びを示しておりましたが、昨年末位から下降してきております。地場産業の多くは輸出に力を入れている産業が多く、中でも自動車関連は高いシェアを示しております。名古屋税関のデータを見ると、アジア・北米・西欧への輸出が特に多く、サブプライム・ショック以降は経営破綻した米大手証券リーマン・ブラザーズなどの影響から今年度北米や西欧への輸出が大きく落ち込んでいます。また、産業別売上伸び率などから景況感を見た場合、いずれの業種も昨年度末から急激に落ち込んでいます。愛知県は昨年12月17日より景気の悪化を懸念して、

「原油・原材料価格高騰に関する中小企業対策」
「原油・原材料高対策の拡充」

等で運転資金の貸し出しを行ってきております。

もちろん今までも実施してきた国・県・市町村など自治体の「中小企業等支援施策」を活用していただきたい、また、今後も早急に景気への対策を考えて行きたいと考えていきます。

そしてもう一方では愛知県の産業を強化するために「次世代産業の創出」以下3つを柱に産業を強化していこうと思っております。

ります。

- ①航空・宇宙への産業の取り込み
- ②成長性の高い戦略的重点分野の推進
- ③研究開発力の強化

◆会員企業事例発表

- ・楠精工(株) 代表取締役社長 三浦 光広 様
 - ・スター電機(株) 代表取締役会長 森永 智 様
 - ・奥野機材(株) 代表取締役社長 天野 櫻子 様
- (発表内容は紙面の都合により、割愛させていただきます)



◆忘年会

勉強会に続き、名古屋国際ホテル最上階「天守閣・スカイルーム」にて忘年会がにぎやかに行われ、会員一同、来年にむけて意欲を新たにいたしました。
(34期 他力)



<講師：富吉賢一様>



<山田茂樹新産会会長>



任期満了に伴う次期会長立候補の届け出について

平成21年度の会長候補者を選出する時期になりました。

立候補される方は、1月13日（火）までに提出を済ませて下さい。追って同日開催される理事会において候補者を決定し、総会に諮ることとします。

新春を迎えて

愛知県知事 神田真秋



あけましておめでとうございます。

昨年は、内外ともに動きの激しい一年でありましたが、県民の皆様方には、県政の推進に格別のご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。しかしながら、会計処理を巡る不適正事案や職員の不祥事により、県政に対する信用を大きく失墜させ、大変申し訳なく存じております。全庁一丸となって、綱紀粛正の徹底と制度や運用面での改善を図り、本年を信頼回復に向けた再出発の年にしてまいり所存であります。

さて、米国の金融危機に端を発する世界的な景気減速は、百年に一度の危機とも言われ、輸出型産業を中心とする本県の地域経済はその真っ只中におかれています。本県の財政も、企業業績の落ち込みなどにより、かつてないほど深刻な事態に陥ろうとしています。新しい年は、厳しい経済環境の中でスタートしますが、県民の皆様方の叡知を結集し、これを乗り越えていけるよう、全力を尽くしてまいります。

まず、県政の基本である、県民の皆様方の安心・安全の確保に向けて、着実に歩を進めていかなければなりません。少子化対策や誰もが安心できる健康・医療・福祉体制の充実に取り組むとともに、治安対策や交通安全、地震防災対策など安全で災害に強い地域づくりをしっかりと推進してまいります。

また、愛知の活力の源泉である産業を強化するため、モノづくり技術の共同研究開発の場となる「知の拠点」づくりや、航空宇宙産業などの次世代産業の育成、中小企業支援などを積極的に進めるほか、農林水産業の振興にも力を注いでまいります。

さらには、学校教育の充実や、あいちのモノづくりを支える人材の育成など、未来の愛知を担う人づくりを積極的に進めます。

加えて、愛知万博の理念と成果を継承するCOP10（生物多様性条約第10回締約国会議）や愛知から世界へ向けて新たな芸術を創造・発信するあいちトリエンナーレ2010などいよいよ来年に迫った主要プロジェクトの準備にも拍車をかけてまいります。

今年が、皆様方にとりまして、充実した一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

平成二十一年元旦